

進路指導部より

「大学入試合格速報」

センター試験の平均点は、国語・数学ⅡB・生物・地学基礎で大幅アップ。数学ⅠA・英語・化学ではダウン。理系にとっては少々厳しい戦いとなったが、本校生は己の力を信じて難関大学等へ多くの生徒がチャレンジ。前期日程発表の段階で、現役既卒合わせて210名国公立大学合格。

1 本年度の入試動向

国公立大の志望者数は対前年指数101と前年並みで、国公立大志向は継続。難関国立10大学は全体の志望者数が対前年指数94となったが、この減少は東大の後期日程廃止の影響によるもので、全体としては概ね前年並みの志望状況といえる。今後も、東京大学の推薦入試、京都大学の特色入試、大阪大学の適塾入試等、多様な人材を確保しようとする各大学の入試制度の転換が見込まれることは注意しておきたい。学部系統別では、文系学部において志望者数が昨年度より上回った系統が多い。特に国際関係学系統や法学系統で増加している。一方、理系学部は全体的に減少。特に医歯薬系統の志望減が顕著となっている。

2 本校の状況について (前期日程結果速報)

センターの全国平均点が昨年よりも文系+7点、理系-6点となったが、本校においては出願に際しては昨年と比べて文理で大きく変わったことはなかった。センター試験に対する準備をしっかりとし、甲南高校で培ってきた二次力を信じチャレンジした結果、今年の卒業生も良い結果を残してくれた。前期試験合格発表の段階ではあるが、現役既卒計で京都大学1名、東京工業大学2名、大阪大学5名、神戸大学3名、九州大学21名、また、医学部医学科には3名が合格。後期試験の結果にも期待したい。

3 1・2年生のみなさんへ

来年再来年は間違いなく君たちの番になる。進路指導部としては、先輩達の後ろ姿をみて、そこに早く追いつき追い越そうとする今後の君たちの頑張りに期待したい。もちろん「夢を掴むこと」は容易なことではない。棘の道を進むからこそ、勝ち取った後の感慨はこの上ないものになるのだ。新学年を迎えるまでの助走期間で自らの意思をしっかりと固め、決意を新たに邁進してほしい。

二次試験引率記 全員合格を祈る

【関東地区】

23日(火)、六十七期生十二名が国立大学の前期試験に向けて、東京へ出発した。羽田空港においては、藤崎剛と東二甲会長をはじめ五名の先輩方より激励のお言葉と合格祈願のお守りを一人一人に戴き、生徒たちは改めて悲願達成への思いを強くした。24日(水)、翌日の試験本番のタイムスケジュールに従って、実際に宿泊ホテルから試験会場までの移動および下見を行った。不慣れな土地での移動や平日のラッシュアワーの混雑など懸念材料が多々あったが、各大学で本校OBの大学生の下見補助・アドバイスを戴き、生徒たちも非常に有意義な時間を過ごすことができたようだ。25日(木)、26日(金)、生徒たちは落ち着いた表情で各々の試験会場へ向かった。完全な新教育課程での出題という点もあり、特に理系の生徒は数学・理科の出題方法や難易度の変化に不安を持って臨んだ様子だったが、これまでの受験勉強で蓄積した知識をすべて出し切った満足感・充実感に満ちた表情で羽田空港に集まった。それぞ

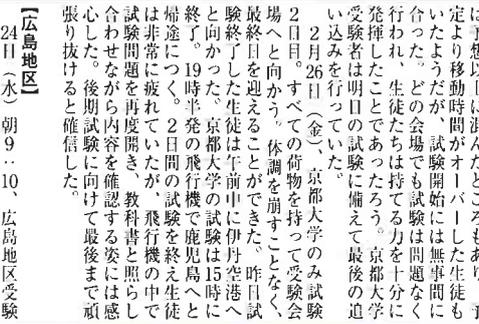


【関西地区】

2月23日(火)12時半、関西地区の団体受験者12名と共に鹿児島空港より大阪伊丹空港へ。13時45分に伊丹空港到着。そして各受験先である京都、大阪、神戸の3地区へと空港バスで移動。宿泊先に到着後は二次試験に向けて各自学習に励んだ。2月24日(水)、各自で受験大学の下見を行う。京都大学の場合、受験案内の掲示は14時から予定であったが、本番当日と同じ時間帯での移動経路と時間を確認するために、朝7時に宿泊先を出発。非常に寒く雪がちらほらと舞う中での移動となった。地下鉄とバスを乗り継いで約30分かけて、大学の受験生も見られた。その後、自習できるスペースを見つけて学習に励む。12時頃、掲示板を確認に行くこと運良く

【広島地区】

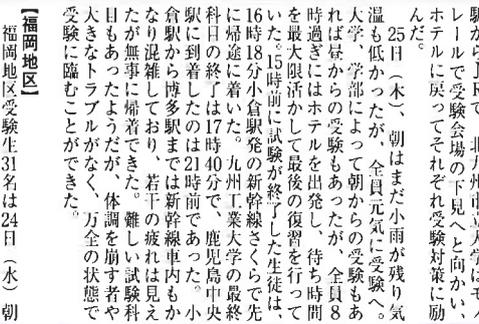
24日(水)朝9:10、広島地区受験生18名は鹿児島中央駅に集合し、新幹線へ。広島駅到着後、昨年広島大学に合格した甲南高校の先輩方と、広島大学(東広島及び霞ヶ丘キャンパス)へ下見を行った。それぞれ受験場所や交通手段、各部屋で最終確認学習をした。25日(木)試験当日、あいにくの雪模様で厳寒であった。鹿児島では考えられない寒さであったが、全員、元気に朝食をとったあと、数学を受験する生徒13名は6:30、小論文、国語からの5人は9:40に各試験会場へ向かった。予想以上の混雑に戸惑った部分もあったが、無事に受験



会場へ。会場からの帰りも同じく大混雑であったが、予定時間に集合が完了し、余裕を持って帰りの新幹線へ。試験終了の解放感でのごんがりとした車内であった。22:35鹿児島中央駅到着。体調を崩す者もなく、全力を出し切った(写真・無事試験が終わり、ほっとした顔で記念撮影(東広島駅))

【北九州地区】

九州工業大学および北九州市立大学の受験者7名は2月24日(水)11時30分に鹿児島中央駅に集合した。福岡博多地区の受験生とともに11時52分発新幹線から小倉へ。博多駅で乗り換え、14時には小倉駅に到着。鹿児島を出るときは晴れていたが、小倉は小雨交じりの空模様でもとて寒かった。まず、ホテルにチェックインし、それぞれ下見に向かう。九州工業大学は小倉駅からJRで、北九州市立大学はモノレールで受験会場の下見へと向かい、ホテルに戻ってそれぞれ受験対策に励んだ。25日(木)、朝はまだ小雨が残る気



も低かったが、全員元気に受験へ。大学・学部によって朝からの受験もあれば昼からの受験もあったが、全員8時過ぎにはホテルを出発し、待合室を最大限活用して最後の復習を行った。16時18分小倉駅発の新幹線から先に帰途に着いた。九州工業大学の最終列車に到着したのは21時前であった。小倉駅から博多駅までは新幹線車内もかなり混雑しており、若干の疲れは見えたり無事に帰ってきた。難しい試験科目もあったようだが、体調を崩す者や大きなトラブルがなく、万全の状態

【熊本地区】

熊本大学と熊本県立大学の受験者25名は、2月24日(水)に新幹線にて熊本へと向かった。熊本駅で昨年度の卒業生5名が温かく出迎えてくれた。そのような集いのために、一職員として甲南生の団結力の強さと心強さを感じた。先輩達と合流後は、受験学部や大学ごとにバスと徒歩にて、受験会場下見に向かった。下見後は、ホテルに戻って各自で受験対策に励んだ。25日(木)、受験開始時刻に合わせて、それぞれが余裕を持って受験会場へ出発。入試直前までノートや参考書で最後の確認を行う姿が印象的であった。大きなトラブルもなく、全員が万全の態勢で受験に臨むことが出来たようであった。試験終了後は、それぞれ公共交通手段で博多駅新幹線中央改札口前に集合することになった。伊都キャンパス組は12:30に試験が終了したにもかかわらず、精一杯混雑であったこともあり、精一杯混雑であった。試験の科目数に関係なく、理系は15・17発の新幹線、文系は17・08発の新幹線での出発だが、文系は17・08発に分かれての帰路にした。慣れない土地での受験であったが、全員颯爽とした行動力で何事にも即時に対応し、さすが甲南生と感心させた。特に大きな混雑も無く、それぞれが実力を発揮しやすい旅行であったと思われ、多くの生徒に吉報が届くことを願う。(写真上・福岡教育大下見にて。写真下・九大伊都キャンパスにて。試験開始前の緊張の様子)



会場へ。会場からの帰りも同じく大混雑であったが、予定時間に集合が完了し、余裕を持って帰りの新幹線へ。試験終了の解放感でのごんがりとした車内であった。22:35鹿児島中央駅到着。体調を崩す者もなく、全力を出し切った(写真・無事試験が終わり、ほっとした顔で記念撮影(東広島駅))

同窓会に感謝

本校は、その前身である「二中」が設立された明治三十九年（一九〇六）年を創立の年として、今年創立百十周年を迎える。現在、校舎大規模改修工事が行われており、学校の象徴であるドームもシートで覆われている状態であるが、今年の夏には新しくなつて我々の前にその姿を現す。

その本校の教育活動に、さまざまな側面から御支援をいただいているのが甲南高校同窓会である。今回は、本校が同窓会の方々にいかに支えられているのか紹介したい。

本校には二つの教育基金が存在する。一つは昭和六十二年設立の「甲南高校教育振興基金」である。これは同窓会員の寄付をもとに運営され、在校生への奨学金や甲南塾などの学校行事、部活動の九州大会・全国大会遠征費などの助成を行つてゐる。もう一つが「西内教育振興基金」である。これは北九州市で長年にわたり医学博士として活躍し、平成三年に逝去された西内弘之氏の遺志で設立され、この基金からも在校生への奨学金が給付されている。また、本校には空調が整備されているが、設置当初に必要となる莫大な費用は西内基金から拠出されている。つまり、在校生は同窓会のおかげもあって快適な環境の中で勉学に励むことができるのである。

甲南生が頻りに利用する二甲記念館。創立百周年記念事業として、先輩方が募金活動で二億円という金額を集め、

平成十九年に造つてくださった。一階が行事や会議に使用され、二階の和室も、部活動の練習や合宿などさまざまな形でフル活用されている。また、二階には二中・二高女・甲南高校の歴史がわかるメモリアルルームもある。是非足を運んでほしい。

来年度の創立百十周年に向けて、同窓会と学校は記念事業実行委員会を立ち上げ、協力しながら準備を進めている。その記念事業として実施されることになったのが、「めざせー二十一世紀薩摩スチューデント」(生徒海外派遣)事業である。一億円を目標に募金活動をしてい

た。その内の半分がこの事業にあてられる。早速今年度から九月に一年生が台湾、二年生が三月にイギリスに派遣されている。この事業は今年度から十年間継続され、同窓会の御支援もあつて本校の教育目標である「地球規模での育成」を具現化することができている。在校生も今後、積極的にこの事業に参加してほしい。

これまで紹介した他にも、甲南高校同窓会はさまざまな形で本校の支えとなつてくださつてゐる。甲南高校の卒業生は、強い絆で母校を愛し誇りをもち、全国にネットワークを張り巡らせている。生徒諸君も、卒業後は是非その一員として、タテ・ヨコのつながりを大切にして、今の先輩たちと同じように、母校を熱く支える存在となつてくれることを願つてゐる。

平成十八年第一回甲南塾

一月二十七日(水)、平成二十八年第一回甲南塾が開催されました。講師に、甲南二十九年で南日本新聞記者センター長の岩松マミ先生をお招きし、「メディアで働く 新聞社の現場から」というタイトルで御講演をいただきました。

岩松先生には昨年十一月に一年生のWIKIの時間に、新聞記事の書き方講座で講師をしていただいたことがきっかけで今回の講師をお願いしました。先生は、新聞記者として主に食の安全性や女性労働、保育問題などに取り組まれる一方、毎週金曜日のMBC「ニューズナウ」でコーナーをお持ちになるなどメディアの最先端で活躍中

です。御講演では、高校、大学のご自身の経験を振り返りながら、ほんのほん、ほんやりと過かしていること、必ずツケが回つてくるといふことや、新聞記者として、どれだけ相手の話に耳を傾

けられるかが大事だということ、任が伴うが、ダメなものにはダメという勇気が必要だということをお話になりました。また、「記者の良いところはいろいろの人に会えること、人のために役立つこと」ということ、自分が受身された赤崎先生から学んだ。宇宙飛行士の若田さんからは、いきなりホームランは打てない、日々の小さな目標と積み重ねが大切の教訓をもらつた。などと大切の経験や元にした、ユーモア溢れるお話に生徒たちも熱心に耳を傾け、あつという間の七十分となりました。

最後の質疑応答では、時間をオーバーするほど多くの質問が出され、盛況の中、御講演が終了しました。生徒たちは大先輩から大きなパワーをもらい、貴重な時間となつたようです。



第五回美術・書道部展

「花咲けり」が二月九日(火)〜十四日(日)まで天文館の薩摩蒸気屋敷子横丁やねうらギヤラリーで開催された。美術部員十名二十三点、書道部員二十九名二十九点を展示した。

この部展は、一年間の集大成であるので、見応えのあるものになったのではないだろうか。小品の作品ではあったものの、作品から湧き出る若いエネルギーを感じてもらえたのではないかと、会場に置かれたノートには、多くのコメントが寄せられた。「感動しました。今度も楽しみです。」「皆さんの努力が見事に咲いていますね。力をもらいました。」など

部活動状況

- 平成27年度(12月)現在
大会成績一覧
- 全国大会
 - 全国高校生デイベート大会 出場
 - 吉留梨央・中村彩夏・加治屋里奈・森山寛生・東浜未来・財部杏朱
 - 九州大会
 - 吹奏楽部
 - 第42回九州アンサンブルコンテスト 管打楽器八重奏 銀賞
 - 吹奏楽部
 - 第42回鹿児島県吹奏楽ソロ・アンサンブルコンテスト
 - 管打楽器八重奏 金賞
 - ※ 鹿児島県代表
 - ラグビー部
 - 第37回鹿児島県高等学校新人ラクロスケットボール競技大会 10人制の部 準優勝
 - ※ 九州大会出場
 - ESS部
 - 鹿児島県第2回高校生英語プレゼンコンテスト 第1位
 - 高校生の部 第1位
 - 伊島美咲・豊島鈴尼玉 芽・小山のぞみ 大久保遼
 - 書道部
 - 第68回鹿児島県書道展 準大賞
 - 森美業 大賞
 - 西春菜・中馬百香 南日本書道会賞
 - 堀切奈々・古井志歩 第37回読売学生書道展
 - 長崎県知事賞 原口知佳
 - 第54回ひな祭り書道展 遊墨賞 永山瑞季
 - バスケットボール部
 - 平成27年度 鹿児島県高等学校新人バスケットボール大会 ベスト8
 - 女子 ベスト8
 - ソフトテニス部
 - 鹿児島県高等学校春季ソフトテニス選手権大会
 - 男子 団体 ベスト16
 - 女子 個人 ベスト8 (7位)
 - 卓球部
 - 小谷啓太・脇田大輔
 - 第49回鹿児島県高校新人卓球競技大会 ダブルス ベスト16
 - 関本惇心・西園翔太組
 - 第56回鹿児島県高等学校春季卓球大会 男子団体 第5位

- (空手道部) 平成27年度鹿児島市空手道選手権大会 高校・一般女子個人組手 第3位 坂元 渚
- (美術部) 第33回吉井淳二記念展 K.T.S鹿児島テレビ賞 折口武史 奨励賞 徳永 葵
- (演劇部) 平成27年度鹿児島県高等学校演劇発表大会 優秀賞
- (SGH) 第1回全国高校生国際シンポジウム (ブレゼンテーションの部) 人文共生・国際関係・経済・資源・エネルギー部門 最優秀賞 吉留梨央 優秀賞 関本惇心 優良賞 山澤優奈 地域・女性の活躍・観光・教育部門 最優秀賞 木川遥奈・原口知佳 優良賞 中村彩夏 (ホスターの部) 人文共生・地域・防災・復興・観光・教育部門 最優秀賞 堀田智之 優良賞 本白水晴生 医療・衛生・環境・産業・農業・食糧部門 星川美来 優良賞 黒岩洗起
- 後期クラスマッチ
- サッカー(男子)
- 第1位 2年7組
 - 第2位 1年6組
 - 第3位 2年4組
 - 第4位 2年4組
 - 第5位 1年3組
 - 第6位 2年8組
 - 第7位 1年7組
 - 第8位 2年2組
 - 第9位 2年4組
 - 第10位 2年5組
- バドミントン(男女混合)
- 第1位 2年1組
 - 第2位 2年6組
 - 第3位 1年7組
 - 第4位 2年1組
 - 第5位 2年5組
 - 第6位 2年1組
 - 第7位 2年3組
 - 第8位 2年1組
 - 第9位 2年4組
 - 第10位 2年4組
- 総合順位
- 第1位 1年3組
 - 第2位 2年1組
 - 第3位 2年4組
 - 第4位 2年4組
 - 第5位 1年3組
 - 第6位 2年1組
 - 第7位 2年4組
 - 第8位 2年4組
 - 第9位 2年4組
 - 第10位 2年4組

